

## 中央新幹線計画の状況

(2026年3月末時点)



## ○品川・名古屋間

- 契約済み工区延長 約9割 (品川～名古屋間延長286kmのうち)
- 用地取得状況 約85%
- 発生土活用先の確定状況 約85%

# 主な工事の進捗状況(東京都～山梨県)

釜無川橋りょう



神奈川県駅(仮称)



品川駅



静岡県

神奈川県

東京都

山梨県

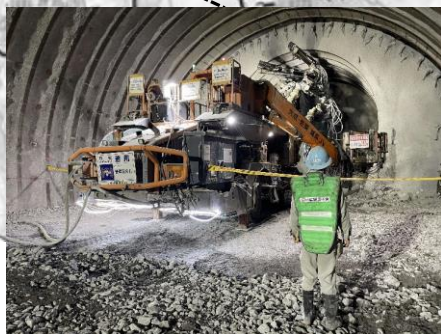
— 契約済区間 — 未契約区間

— 山梨リニア実験線

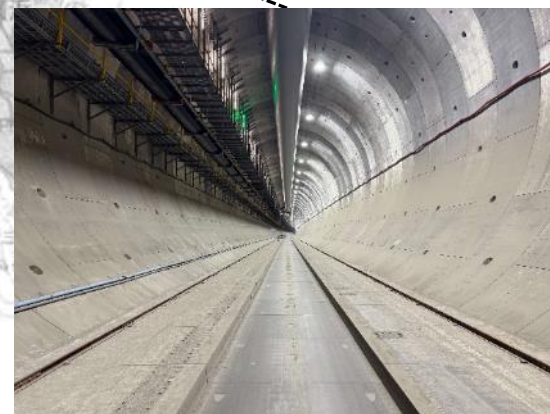
○ 非常口・変電所(契約済)

● 駅(契約済) ○ 駅

■ 車両基地(契約済)



南アルプストンネル(山梨工区)



第一首都圏トンネル(梶ヶ谷工区) 2

# 主な工事の進捗状況(長野県～愛知県)

岐阜県駅(仮称)



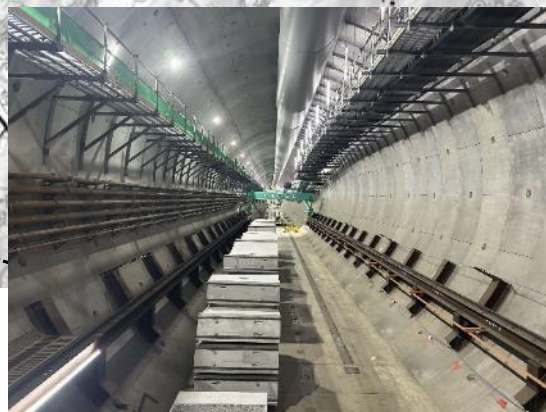
中部総合車両基地(仮称)



伊那山地トンネル(青木川工区)



名古屋駅(中央西工区)



第一中京圏トンネル(名城工区)



阿島北高架橋

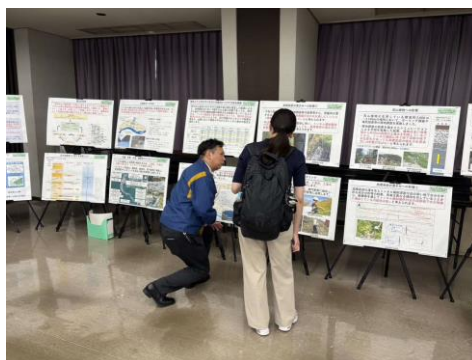
- 契約済区間 — 未契約区間
- 非常口・変電所(契約済)
- 駅(契約済) ○ 駅
- 車両基地(契約済)

## 南アルプストンネル静岡工区の様況

- 1月24日に、静岡県と、大井川の中下流域の水資源の利用に影響が生じた場合の補償等に関する確認書を、国土交通省の立ち会いのもと、締結しました。
- 静岡県との対話が必要な項目については、3月26日に開催された静岡県の専門部会をもって、全ての項目の対話に区切りがつけました。
- 5月26日から6月22日にかけて、大井川流域8市2町および静岡市において、地域の皆様のご理解を深めていただくための説明会を開催しました。
- 7月1日に、丹羽社長が静岡県庁を訪問し、5月から6月にかけての説明会の開催状況等について、鈴木静岡県知事に説明を行いました。
- 7月7日、鈴木知事が静岡県議会全員協議会において「リニア中央新幹線工事に係る自然環境保全協定を事業者であるJR東海と締結する」「締結日は7月18日」と表明されました。



水資源の利用に影響が生じた場合の  
補償等に関する確認書の締結式



地域の皆様へのご説明  
(5/26 静岡市)



鈴木県知事への丹羽社長からの  
説明(7/1 静岡県庁)